

当別町立西当別小学校 学校だより
令和4年12月23日 第10号

ときめく

【学校教育目標】

心ゆさぶる感性 のびのび語り合う子
学び求める知性 ぐんぐん学び合う子
生き方磨く個性 もりもりきたえ合う子

今こそ「早寝、早起き、朝ごはん」運動を！
家庭学習時間 学年×10分+10分

☎ 0133-26-2170 学校HP <http://portal.town.tobetsu.hokkaido.jp/school/nishitobetsu-el/>

「生活リズムを整え、実り多き冬休みを！」

校長 八木橋 桂二

本格的な冬の訪れを感じる季節となりました。冬至も過ぎ、早いもので今年も残すところあとわずかとなりました。年の瀬を迎えるにあたり、この1年の保護者の皆様、地域の皆様の学校へのご理解とご支援に心より感謝申し上げます。

■ ネットトラブルやネット被害の未然防止のために！

今年も、SNSの使用等により、子どもたちが事件や犯罪に巻き込まれるニュースが数多く報道されました。

児童アンケートの結果をみると、本校児童も、学年が上がるにつれて、スマホ等の情報端末を保有している割合が増加しています。

学校では、昨日、5・6年生を対象とした「情報モラル講演会」を開催したところでもあり、子どもたちには、ネットの利便性ととも、危険性についても理解させるなど、今後もSNSとの上手な関わり方を身に付けさせる必要があります。

これからの冬休みは、自由になる時間が増えることと思いますので、お子さんをネットトラブルやネット被害から守るための見守りやルール作りを行っていただきますようよろしくお願いいたします。

■ 生活リズム・バランスのよい生活！ 有意義な冬休みを！

さて、いよいよ明日から子どもたちが楽しみにしている冬休みに入ります。子どもたちにとっては、自由な時間が多くなることで、時間の管理が難しい場合もあるかと思えます。「生活リズムを整える」「学習や運動などバランスのよい生活を送る」など、ご家族で十分に話し合い、計画に沿って生活するようご指導をお願いします。

また、冬休み中は家族と一緒に過ごす時間や様々な人との出会いも増えることでしょう。新年を迎える準備に家族の一員として手伝いをする事や年末年始のあいさつを交わして感謝の気持ちを表すこと、様々な伝統行事にふれることなど、この時期ならではの経験をすることで、子どもたちがさらに成長することを願っています。そして何より、休み中も『早寝早起き 朝ご飯』の習慣を崩さないようお願いします。

■ 令和5年が、皆様にとって素晴らしい年になりますように！

これからの季節、体調を崩しやすい時期を迎えます。この冬は新型コロナウイルス感染症とともに、インフルエンザの罹患も心配されます。冬休み中はご家族皆様で体調管理にご留意ください。そして、冬休み明けの1月17日(火)には、たくさんのおみやげ話をもって、全員が元気に顔を揃えてほしいと願っています。

保護者や地域の皆様のご理解とご支援により、この1年を無事に終えることができました。心より感謝申し上げます。令和5年が皆様にとって最良の年になりますようご祈念申し上げ、年末のご挨拶といたします。どうぞ、よいお年をお迎えください。



1月の行事



「保護者アンケート」への回答のご協力ありがとうございました。

お忙しい中、保護者アンケートのご協力、感謝申し上げます。多くの方よりご回答をいただきました。

本校の教育活動へご協力とご理解いただいていること、大変ありがたく思っております。

アンケートにつきましては、ご意見や傾向をまとめ、数値とともに学校便りにて公表いたします。皆様のご意見を真摯に受け止め、今後の学校づくりに生かしてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



また、「体罰等に関する調査」につきましても、現在お願いしているところです。

こちらにつきましては、封筒での回答のほか、スマホ等での回答も可能ですので、よろしくお願いいたします。

本校では、冬のスポーツの楽しさや、体力向上を目指し、スキー学習を行っています。1・2年生は学校のグラウンド、3年生以上は町内の石狩平原スキー場で学習していきます。

子どもたちのケガの防止に向けて、各ご家庭にお願いがあります。ぜひ冬休み中に、**スキー用具の事前チェック**をしてください。体に合わないスキーはとても危険です。**スキー板や靴のサイズの確認、金具の調整**など、お手数とは思いますが、ぜひお願いします。また、学校での**スキー学習が初スキーにならないよう、事前の練習**をお勧めしています。

新型感染症対策のため、お弁当をスキー場のロッジで食わず、学校に戻ってから食べることにしています。戻ってくる時間が12時半ころを想定しているため、**給食についてはカット**となります。ご了承ください。



また、スキー靴については、スキー場で履き替えることとなりますので、スキー靴を入れるバグの準備をお願いいたします。

■生命について考える日

今年度も、生命尊重をテーマにした道徳の授業を行い、安全や命の尊さについて考えます。命の大切さや、安全な生活等について、ご家庭でも話題にさせていただきたいと思っております。

日	曜	行 事
1	日	年始休業 学校閉庁日
2	月	年始休業 学校閉庁日
3	火	年始休業 学校閉庁日
4	水	
5	木	
6	金	
7	土	
8	日	
9	月	成人の日
10	火	
11	水	
12	木	
13	金	
14	土	
15	日	
16	月	
17	火	朝の交通安全指導～19日 6年スキー学習（1）
18	水	会議日 あいさつ週間～19日
19	木	5年スキー学習（1）
20	金	4年スキー学習（1）
21	土	
22	日	
23	月	6年スキー学習（2）
24	火	3年・たんぼぼスキー学習（1）
25	水	会議日
26	木	新1年生体験入学 （1・2年生午前授業、給食なし） 5年スキー学習（2）
27	金	会議日 4年スキー学習（2）
28	土	
29	日	
30	月	3年スキー学習（2）
31	火	生命について考える日

◆◆◆◆◆ 学校の様子から ◆◆◆◆◆

5・6年福祉体験・認知症サポーター養成講座



12月13日(火)に、認知症サポーター養成講座を実施いたしました。厚生労働省では、みんなが暮らしやすい地域をつくっていく運動を行っており、認知症に対する偏見や誤解をなくすとともに、認知症になっても尊厳を持って地域で暮らし続けることができるよう事業を展開しています。当別町においても、当別町地域包括支援センターが中心となって実施しています。



小学校ではこれを福祉体験学習とあわせて実施しており、車いす体験学習と認知症サポーター養成講座と入れ替え制で行っています。車いす体験では、介助する側、介助される側を体験することで車いす操作の大変さや乗っている人の不安や怖さなど理解を深めていました。また、認知症サポーター養成講座では認知症の特性を知り、どのように付き合っていくことが大切かを学びました。子どもたちはそれぞれに自分がこれからできることについて真剣に考えていたようです。

◆◆◆◆◆ 冬休みの過ごし方について ◆◆◆◆◆

(1) 規則正しい生活を心がけよう！

明日はまちにまったクリスマスイヴ。そして1週間後には大晦日、お正月と楽しいイベントがもりだくさん。つい生活が乱れがちになる年末年始ですが、「早寝・早起き・朝ごはん」を心がけて規則正しい生活を送れるようご指導お願いいたします。

特に睡眠時間は大切です。この時期の子どもたちは心身ともに大きく成長する時期です。睡眠をしっかり取り、朝ごはんを毎日きちんと食べ、規則正しい生活を送ることで、丈夫で健康な身体をつくるだけでなく、学習にもしっかりと取り組めるようになります。学校でも指導いたしますが、ご家庭でも声かけをよろしくお願いいたします。



(2) 自分の命は自分で守ろう！ 苦しいときも相談して

冬型事故の例としては、屋根からの落雪や凍結路面での交通事故、除雪車両との接触事故等があげられます。年末年始で交通量も増加しますので十分な注意が必要です。また、軒下や歩道には雪山ができますが、その雪山では決して遊ばないように声かけをお願いいたします。氷の張った池や水路などにも決して近づかないようにしてください。

また、長期休みになり、悩みや苦しさなど友だちや先生と話し合う機会が少なくなります。

悩みや心の苦しさなどがあったら貯めこまず、すぐに相談してほしいことを学校でも指導します。また、相談支援センターの窓口も掲載してありますので、ぜひ一声かけてあげてください。



(3) 体調管理をしっかりと！

不要不急の外出は控えたいと思いますが、年末年始はどうしても人がたくさん集まることが多くなります。

楽しい冬休みを過ごすために、食事と睡眠をしっかりと、健康な身体を保ちましょう。出かけるときはしっかりとマスクを着用し、密をできるだけ避けましょう。また外から帰ったら、手洗いの徹底もお願いいたします。



(4) 長い休みにしかできないことに挑戦！

長い休みでなければできないことにもぜひチャレンジさせてください。この冬休みは外出は減ると思います。じっくりと自分で課題を見つけて取り組めるよう励ましてください。



冬休み明けの登校は、1月17日(火)です。お子さんが楽しい思い出をいっぱいお土産にして元気に登校してくるのを楽しみにしています。

子ども相談支援センター 相談窓口のお知らせ

いじめや不登校、体罰などの学校教育に関する悩み、子育て・しつけなど家庭教育に関する悩みなど相談してください。

- 電話相談
0120-3882-56 *無料、毎日24時間対応
- メール相談
doken-sodan@hokkaido-c.ed.jp
*急ぎの場合は電話相談を利用してください。
- 来所相談 10:00~16:00
*土日・祝日、年末年始はお休みです。



冬休みの新型コロナウイルス感染症の感染対策について

12月に入り、北海道の感染者が少しずつ落ち着き始めてきましたが、年末年始に向けて多くの人が動き始めるため、感染リスクは上がっていくと思われます。冬休みの感染対策について、北海道教育委員会より通知がありましたので、抜粋して紹介いたします。

このようなサインがある場合は、受診を考えましょう

【せき】

- ◆せきをしたり呼吸をしたりすると胸が痛い
- ◆呼吸が苦しい
- ◆2～3週間以上せきが続く



【鼻】

- ◆片側のほっぺが痛い
- ◆下を向くとほっぺが痛い
- ◆鼻水が強く、上の歯も痛い



【のど】

- ◆突然ののどの痛み
- ◆ごはんが食べられないほど、のどが痛い
- ◆のどが痛く呼吸もしにくい（特にあお向けで悪化）



【全身症状】

- ◆発熱が続く
- ◆ガチガチするほど寒気がする
- ◆たくさんの寝汗をかく
- ◆水分をとることができない



「飲めない」「歩けない」「息苦しい」は、救急車を検討しましょう。

「総合診療医が教える、よくある気になるその症状 ～レッドフラッグサインを見逃すな！」（岸田直樹）より

「熱が出たとき」、「病院にかかりづらいとき」のための備え

医薬品等の例

■市販の抗原検査キット

国が承認したキットを選びましょう。
（「体外診断用医薬品」「第1類医薬品」と表示）

■市販の解熱鎮痛薬

厚生労働省のホームページを
参考にしましょう。 →



食料品の例

■水分補給できるもの

スポーツ飲料、経口補水液、
ゼリー飲料など

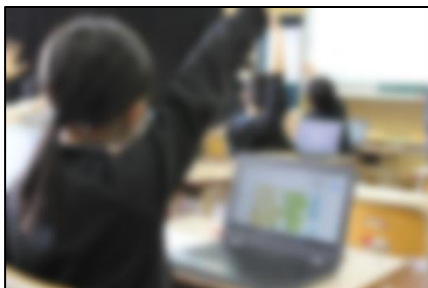


■体調がすぐれない時でも

レトルトのおかゆ、パックごはん
うどんなど



■のどあめ



2022年も残すところあと1週間ほどとなりました。今年度は「with コロナ」ということで、感染対策を講じながらできるだけ多くの教育活動に取り組んでまいりました。感染対策のため、今までと違う取り組みに対し、ご理解とご協力をいただきましたこと、感謝申し上げます。2023年もどうぞよろしくお願いいたします。

